

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表: 令和5年3月1日

事業所名 つみき第4

保護者等数(児童数) 23 回収数 16 割合 70%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------------|---|---|----|---------------|-----|--------------------|--|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている | 14 | 2 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切である | 15 | 1 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている | 15 | 1 | 0 | | |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている | 15 | 0 | 0 | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている | 15 | 1 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 8 | 5 | 3 | 同地区にある同事業所との交流はある。 | 障害のない事に関わりを持つ事は現状難しいが、公園や児童館での関わりを大切にしていきたい。 |
| 保護者 への 説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 16 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている | 16 | 0 | 0 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている | 15 | 1 | 0 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている | 8 | 6 | 2 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 16 | 0 | 0 | 苦情事例がない為不明 | 引き続き安心して利用して頂ける様に努めていきます。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている | 16 | 0 | 0 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している | 16 | 0 | 0 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意している | 15 | 1 | 0 | | |
| 非常 時等 の 対 応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている | 12 | 4 | 0 | | マニュアルは策定されているので周知に努めていきます。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている | 12 | 4 | 0 | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-----|---|-----------------|----|---------------|-----|----------------------------|------------------------------------|
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしている | 15 | 1 | 0 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足している | 16 | 0 | 0 | 長期休暇中の預かり時間や昼食等ありがとうございます。 | ご理解・ご協力ありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和5年3月1日

事業所名 つみき第4

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|---|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である | 6 | 0 | 0 | 与えられた空間で 出来る活動を考えて いく。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 6 | 0 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている | 1 | 4 | 1 | | 建物の構造上バリアフリー が難しい為、転倒等の怪我 には引き続き気を付けてい く |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している | 4 | 2 | 0 | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている | 5 | 1 | 0 | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している | 6 | 0 | 0 | 年に1回ホーム ページで公開して いる。 | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている | 4 | 2 | | | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している | 6 | 0 | 0 | | 内部研修を行っている |
| 適切 な支 援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | 0 | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 0 | 0 | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる | 6 | 0 | 0 | 似たような活動に なっている等でも工程 を変える等して取り 組んでいる | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | 日によって利用者も違う為 状況を見てプログラムを考 えていく。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している | 6 | 0 | 0 | 長期休暇等は 出勤時間の違いから 全体での打ち合 わせが難しい日 もある為個別でリー ダーとの打ち合 わせを行う | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している | 2 | 4 | 0 | 退勤時間の違いから 毎日全員で行う 事が難しい為翌日 や部会等で振り返 りを行う。 | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 0 | | その日の担当職員から様子 等を聞き記録に残している。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|---|----|---------------|-----|--|------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている | 6 | 0 | 0 | | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | 5 | 0 | | 第4には該当児は居ない。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている | 2 | 4 | 0 | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している | 0 | 6 | 0 | 現段階で該当児が いない為行なっ ていないが必要 であれば情報提 供を行います。 | |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている | 0 | 6 | 0 | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある | 2 | 4 | 0 | | 公園遊び等で関わりを作っ ていきます。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している | 0 | 6 | 0 | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている | 6 | 0 | 0 | 送迎時の引き継ぎ の際に様子を伝え ている。 | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている | 0 | 6 | 0 | | |
| 保護者への説 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 0 | 契約時に行なっ ている | |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | 0 | 相談があれば都度 行なっている。必 要に応じて面談を 行なっている。 | |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している | | 6 | 0 | | |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している | 6 | 0 | 0 | 職員間で状況を確 認しその都度対応 している。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------------------------------|---|--|----|---------------|-----|----------------------------|------------------------------|
| 明 責 任 等 | ⑳ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉑ | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉒ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉓ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | 0 | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ㉔ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | 0 | 0 | | 保護者から問い合わせがある事もある為、再度周知していく。 |
| | ㉕ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 0 | 6 | 0 | 様々な災害を想定して行う | 定期的に行なっていく。 |
| | ㉖ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | 0 | 内部研修を行ったり部会で話し合いの場を設定している。 | |
| | ㉗ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉘ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 0 | 0 | | |
| | ㉙ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | 0 | ヒヤリハットがあった際には記録を残している。 | |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。